



2016年12月期

---

# 第2四半期決算説明会

2016年8月22日

SBSホールディングス株式会社



---

# も く じ

- **2016年12月期  
第2四半期決算概要  
及び通期見通しについて**
- **2016年度グループ経営について**

# 2016年12月期 第2四半期決算概要 及び通期見通しについて

SBSホールディングス株式会社  
財務部長 遠藤 隆

# 第2四半期 連結業績(前期比較)

2

(単位:百万円)

	15年度 2Q		16年度 2Q			
	実績値	構成比	実績値	構成比	増減額	増減率
売上高	79,229	100%	76,531	100%	△2,697	△3.4%
営業利益	1,788	2.3%	5,347	7.0%	3,559	199.0%
経常利益	1,978	2.5%	5,642	7.4%	3,664	185.2%
四半期 純利益	2,033	2.6%	4,009	5.2%	1,976	97.2%

# 第2四半期 連結業績(計画比較)

3

(単位:百万円)

	16年度 2Q		16年度 2Q			
	計画値	構成比	実績値	構成比	増減額	増減率
売上高	76,500	100%	76,531	100%	31	0.0%
営業利益	5,100	6.7%	5,347	7.0%	247	4.8%
経常利益	5,200	6.8%	5,642	7.4%	442	8.5%
四半期 純利益	3,600	4.7%	4,009	5.2%	409	11.4%

# セグメント別業績動向

(単位:百万円)

セグメント		15年度2Q 実績値	16年度2Q		
			実績値	増減額	増減率
物 流	売上高	73,810	64,562	△9,248	△12.5%
	営業利益 利益率	973 1.3%	916 1.4%	△57	△5.9%
不 動 産	売上高	2,510	8,935	6,425	256.0%
	営業利益 利益率	805 32.1%	4,390 49.1%	3,585	445.0%
そ の 他	売上高	2,908	3,034	126	4.3%
	営業利益 利益率	125 4.3%	172 5.7%	47	37.6%

※上記各セグメント営業利益の合計額を調整して損益計算書の営業利益となります。

※2015年2Qの調整額は△115百万円、2016年2Qの調整額は△131百万円です。

# 参考：経営管理料調整前セグメント業績 5

(単位:百万円)

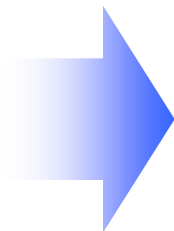
セグメント		15年通期 実績値	16年通期		
			実績値	増減額	増減率
物 流	売上高	73,810	64,562	△9,248	△12.5%
	調整前 営業利益 利益率	1,680 2.3%	1,684 2.6%	4	0.2%
不 動 産	売上高	2,510	8,935	6,425	256.0%
	調整前 営業利益 利益率	860 34.3%	4,437 49.7%	3,577	415.9%
そ の 他	売上高	2,908	3,034	126	4.3%
	調整前 営業利益 利益率	167 5.7%	211 7.0%	44	26.3%

# 連結貸借対照表の推移

2015年期末

単位:億円

2016年2Q末



総資産 1,248

自己資本比率 22.5%

Δ53

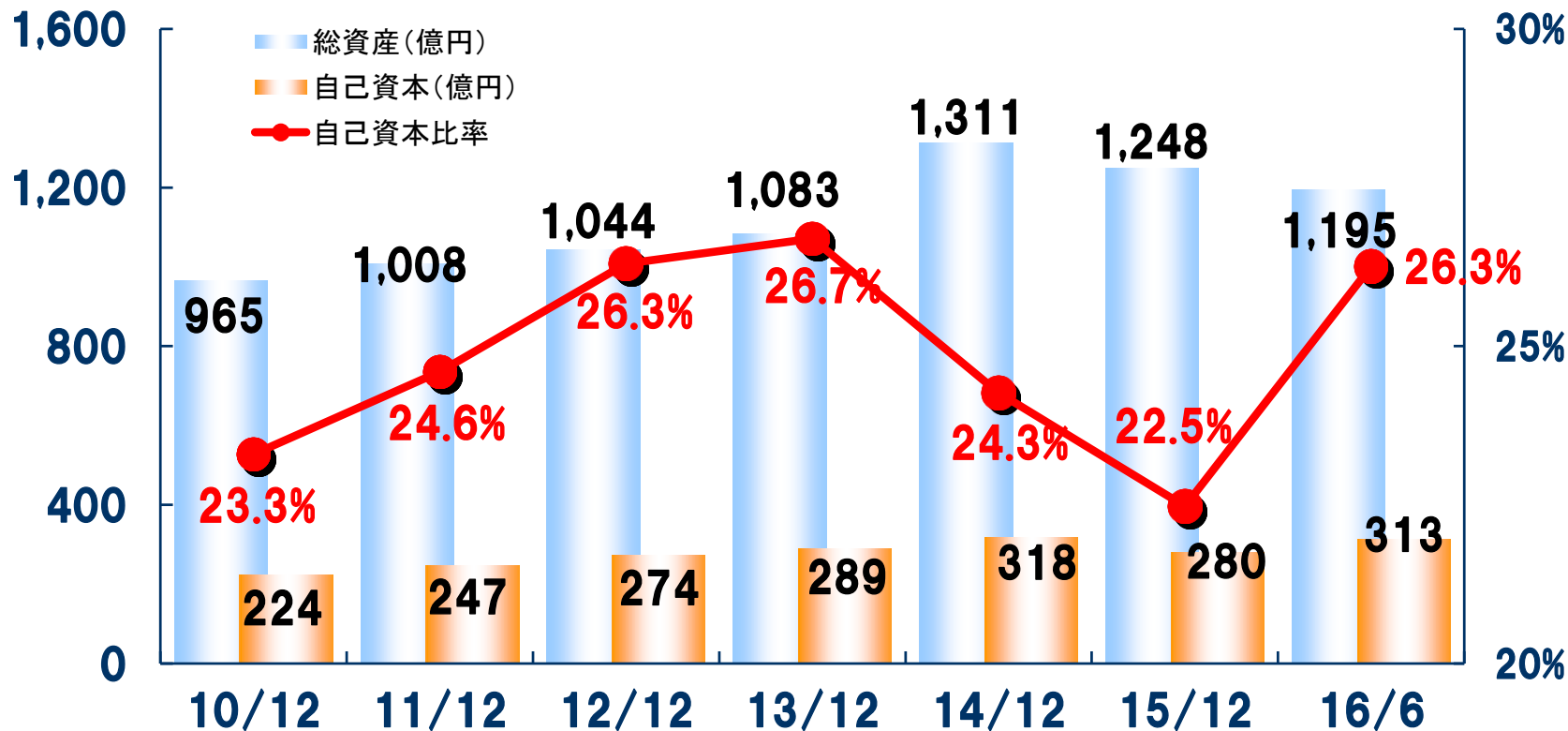
自己資本比率は  
3.8ポイント上昇

総資産 1,195

自己資本比率 26.3%



## ■自己資本比率



## ■ネットDEレシオ※

1.95 (2015年12月末) ⇒ 1.50 (2016年6月末)

※ (有利子負債-現預金) ÷ 自己資本

# 16年12月期 連結業績予想

8

(単位:百万円)

	15年12月期		16年12月期			
	実績値	構成比	予想値	構成比	増減額	前期比
売上高	157,996	100%	146,500	100%	△11,496	△7.3%
営業利益	5,347	2.9%	6,600	4.5%	1,253	23.4%
経常利益	5,772	2.6%	6,600	4.5%	828	14.3%
当期純利益	△3,815	1.9%	4,300	2.9%	8,115	-

# 16年12月期 セグメント別業績予想

(単位:百万円)

セグメント		15年通期 実績値	16年通期		
			計画値	増減額	増減率
物 流	売上高	143,391	129,950	△13,441	△9.4%
	営業利益 利益率	2,072 1.4%	1,530 1.2%	△542	△26.2%
不 動 産	売上高	8,641	10,350	1,709	19.8%
	営業利益 利益率	3,292 38.1%	5,070 49.0%	1,778	54.0%
そ の 他	売上高	5,963	6,200	237	4.0%
	営業利益 利益率	238 4.0%	300 4.8%	62	26.1%

※上記各セグメント営業利益の合計額を調整して損益計算書の営業利益となります。

※2015年通期の調整額は△256百万円、2016年通期の調整額見込みは△300百万円です。



【× 円】

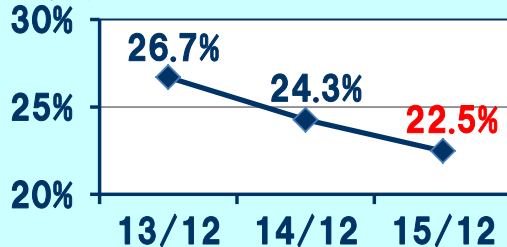
# 2016年度グループ経営について

SBSホールディングス株式会社  
代表取締役社長 鎌田 正彦

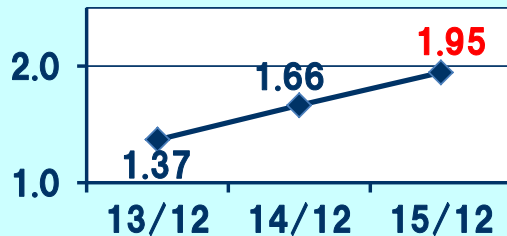
## インド企業からの経営撤退

### ■財務指標の悪化

- ・自己資本比率の低下



- ・ネットDEレシオの上昇



### ■市場の信頼喪失

- ・当期純損失  
+38億円 ⇒ △38億円
- ・期末配当を中止  
16円 ⇒ 0円

2015年度

## V字回復の年

### ■財務指標の回復(2Q末)

- ・自己資本比率の向上

自己資本 313億円  
自己資本比率 26.3%

- ・ネットDEレシオの適正化

ネット有利子負債 464億円  
ネットDEレシオ 1.50

### ■市場の信頼回復

- ・利益計画の必達

営業利益 66億円 23%増  
経常利益 66億円 14%増  
当期純利益 43億円 黒転

- ・第1四半期配当の実施

3月末に16円配当  
(12月末期末配当16円予定)

2016年度

## ■ 物流事業・・・計画通りの減収減益

- 5万坪物流拠点の立ち上げ
- アパレルEC向けフルフィルメントサービスを開始
- 共同物流(ワイン、眼鏡レンズ)が堅調
- 海外事業の全面見直し着手



定温・定湿の  
ワイン専用配送車両



保冷カーテンで  
冷気を逃がしません

## ■ 不動産事業・・・施設売却を前倒し

- 横浜・杉田物流センター竣工
- 埼玉・所沢物流センター竣工
- 埼玉・川越物流センター売却

## ■ その他事業・・・堅調に推移

- 太陽光・マーケティングが好調



竣工した埼玉・所沢物流センター

# 5万坪の物流拠点開設

- 開設は概ね計画通りに完了した
- 下期は安定化と効率化を進め、収益体質へ

## 自社施設に開設



## 賃貸施設に開設



千葉・市川  
PC等サブ  
ライ用品

東京・有明  
百貨店  
返品

横浜・羽沢  
バラエティ  
ストアなど

## 顧客施設に開設

千葉・佐倉  
スーパー  
・食品卸

東京・銀座  
商業ビル  
館内物流

兵庫・三田  
ドラッグ  
ストア



## ■ 主な3PL稼働実績

- ドラッグストア(基幹センター運営)
- 大手スーパー・食品卸(増設物流センター運営)
- PC等サプライ用品メーカー(物流センター運営)
- ワイン物流(ワイン専用センターを横浜に新設)
- アパレルEC物流(フルフィルメントサービス提供)

## ■ 3PL売上高の推移

(単位:億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 計画
売上高(国内物流)	1,175	1,228	1,254	1,291
うち3PL売上高	461	485	512	545
前期増減率	4.1%	5.2%	5.6%	6.4%
売上高構成比	39.2%	39.5%	40.8%	42.2%

- 前期の教訓をもとに海外事業の見直しに着手
- 組織再編、経営効率化を図る



## 2棟の大型物流施設が竣工



横浜・杉田物流センター  
2016年1月竣工

横浜港の立地を活かし、機械部品、化粧品、雑貨、食品、ワイン、その他飲料などの輸出入拠点



埼玉・所沢物流センター  
2016年3月竣工

大手百貨店様向けの専用施設として建設。複数個所に分散していた倉庫や物流センターを集約



## 川越物流センターを売却



埼玉・川越物流センター  
2007年11月竣工

竣工日	2007年11月
土地	約9,900坪
建物	約14,400坪
売却日	2016年6月
簿価	38.8億円
売却額	75.7億円
営業利益	36.6億円

コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3Q売却予定を2Q売却に前倒し</li> <li>・2年間の分割売却予定を1年間で一括売却。B・S改善を図る</li> </ul>
	<p>売却先</p>  <p>ユナイテッド・アーバン投資法人 United Urban Investment Corporation (J-REIT)</p>

投資



タイ物流倉庫



長津田物流センター

所沢物流センター



杉田物流センター



横浜  
金沢

大阪  
南港

千葉  
or  
埼玉

..2014.....2015.....2016.....2017.....2018..

回収



西日本ロジセンター

所沢倉庫

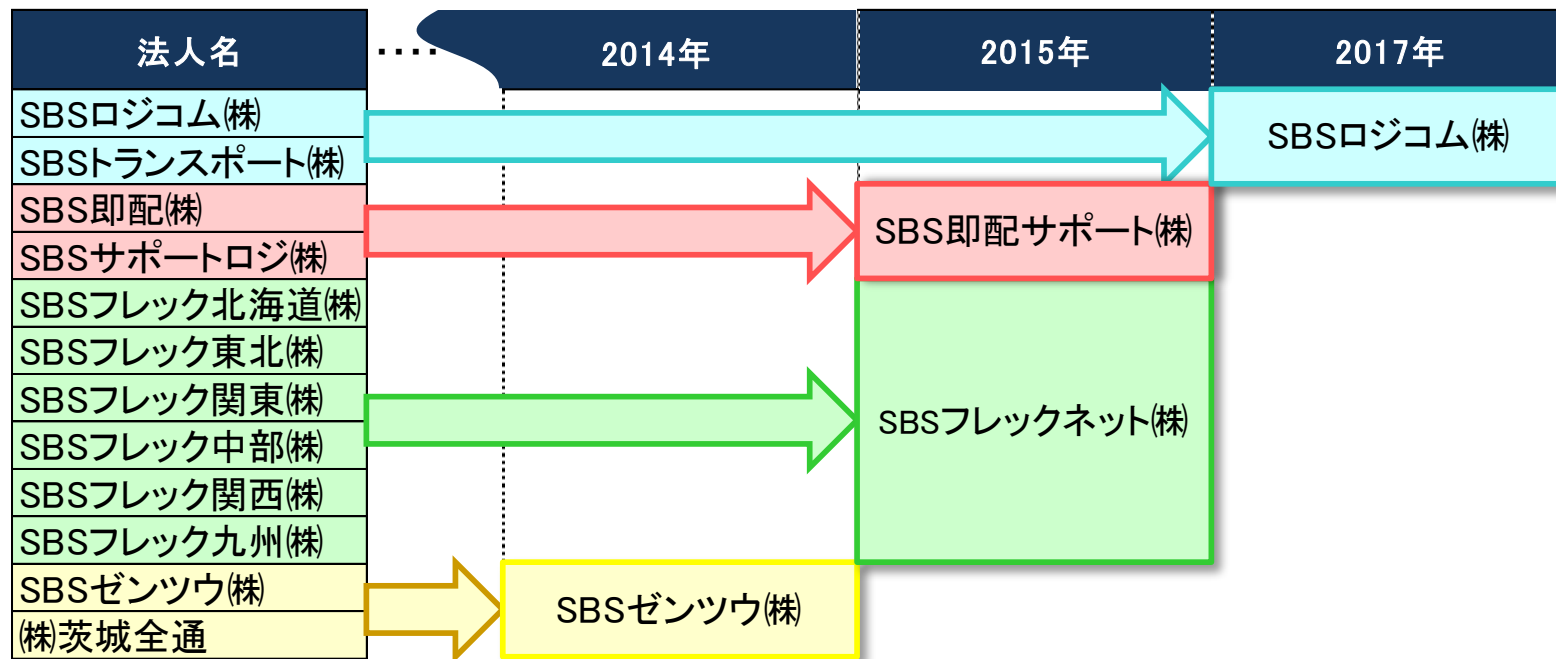


野田吉春物流センター



川越物流センター

- ロジコムとトランスポートを合併(2017年1月)
- 合併による競争力強化と経営効率化の追求
- 2014年以降12社を合併、4社に集約



■ 2017年12月のゴールは変更せず

■ インド経営撤退によりM&A寄与値を外す

